

第 2 次平塚市新型コロナウイルス感染症総合対策（補完版）

（案）

○総合対策の視点

- ・本市では、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）に対応するため、令和 3 年 2 月に「第 2 次平塚市新型コロナウイルス感染症総合対策」（以下、「第 2 次総合対策」）を策定し、喫緊の課題への対応策を取りまとめるとともに、国の 1 5 カ月予算と歩調を合わせた感染症対策を講じています。
- ・感染症の第 5 波にあつて、感染症対策に万全を期するため、9 月議会定例会において、3 回の補正予算を上程しさらなる対策を講じつつ、感染症に対抗するワクチン接種を加速させるよう、第 2 次総合対策に位置づけた取組のうち、強化すべき取組を充実させます。
- ・本対策においては、第 2 次総合対策を踏まえ、医療体制を確保するとともに、感染防止対策を組み入れて施設・事業を運営します。また、市民の暮らしとまちの経済を支え、さらに、地域におけるデジタル化・グリーン化を促進するとともに、デジタルなど新しい技術を活用した行政サービスを展開します。
- ・長期化する感染症の戦いに向けて、危機感を持って感染症の再拡大へ対応するとともに、ポストコロナの社会への対応も見据えて、補強した第 2 次総合対策を推進してまいります。

【総額 約 8 億円】

（主な財源内訳）

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 約 1. 6 億円
- ・その他国庫補助金等 約 4. 5 億円

- 1 感染症の再流行へ備えるために
- 2 コロナ危機の中でも社会経済を回し続けるために
- 3 ポストコロナを見据え、その先のまちづくりを進めるために

1 感染症の再流行へ備えるために

471,152 千円

◇基本的な方向性◇

医療体制の確保策として、市民病院における感染症対策、新型コロナウイルスワクチン接種の加速化、子どものインフルエンザ予防接種の支援に取り組みます。また、安心・安全に施設や事業を運営するため、公共施設等に係る感染リスクを軽減するとともに、子育て・福祉施設における感染拡大防止を徹底します。

◆補強の視点◆

医療体制の確保に向けて、子どものインフルエンザ予防接種、子育て支援・障がい者施設における抗原検査キットを活用した陽性者の早期発見、すべての小中学校へのパルスオキシメーターおよびCO₂モニターの配備完了に取り組み、感染症の拡大防止を徹底します。

(1) 医療体制を確保する

●市民病院における感染症対策に取り組む

感染力が強くなった感染症に対応するため、医療機器や保健衛生用品を整備することで、院内の感染拡大を防ぎながら、医療提供体制を確保します。

【9月補正1回目】【経営企画課】

◇主な経費

- ・CT撮影装置等……………66,000(千円)・血液浄化装置(2台)…12,716(千円)
- ・超音波画像診断装置……8,250(千円)

102,653(千円)

●ワクチン接種体制を整える

新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を進めるため、会計年度職員を設置して、集団接種やVRS(ワクチン接種記録システム)読み込みに対応するとともに、集団接種に係る人材派遣や駐車場の警備を強化します。また、市民からの問い合わせに 대응するため、ロボットコールセンターを拡充し、安心してワクチン接種ができる環境を整えるとともに、集団接種の会場を追加することで、さらなるワクチン接種を加速させます。

【9月補正1回目】【健康課】・ワクチン接種の環境整備……………112,508(千円)

【9月補正3回目】【健康課】・集団接種ができる会場の追加分…164,001(千円)

276,509(千円)

※ワクチン接種については、国から補助率10/10の財源が措置されます。

●子どものインフルエンザ予防接種を支援する

市内在住の生後6カ月から12歳未満の子どもたちに対して、インフルエンザの予防接種に係る費用を助成し、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザのツインデミックの未然防止に努めます。

【9月補正2回目】【健康課】

※1回の接種につき2,000円を2回まで助成

37,800(千円)

(2) 感染防止策を組み入れて施設・事業を運営する

●公共施設における感染症対策に取り組む

感染症対策を強化するため、文化芸術ホールの開館に合わせて、非接触型体温検知器を配備するとともに、市内の小中学校、公民館、図書館、福祉会館等へのアルコール消毒液の配備に加え、栗原ホームへ密集を避けるための入浴補助リフトや市内の公立保育園および公立認定こども園に園児の登退園管理システムを導入します。

【9月補正1回目】 410（千円）【文化・交流課】 473（千円）【教育総務課】

400（千円）【中央公民館】 306（千円）【中央図書館】

【9月補正3回目】 4,100（千円）【福祉総務課】 1,139（千円）【保育課】

6,828（千円）

●子育て支援施設における感染拡大防止を徹底する

保育所、認定こども園、幼稚園、子育て支援センター、つどいの広場、ファミリー・サポート・センター、放課後等デイサービス、放課後児童クラブ等の従事者に向けて、抗原検査キットを配布し、陽性者の早期発見につなげ感染拡大防止を図ります。

【9月補正3回目】 7,600（千円）【保育課】 2,000（千円）【こども家庭課】

1,600（千円）【青少年課】 1,320（千円）【学務課】

※抗原検査キット 従事者1人当たり2キット

12,520（千円）

●学校教育活動を継続的に支援する

学校教育における感染症対策を強化するために、保健衛生用品の購入経費等や感染症対策等に資する研修参加に対して支援金を交付します。また、コロナ禍における児童生徒の健康管理を強化するため、市立小中学校にパルスオキシメーターおよびCO₂モニターを配備します。

【9月補正3回目】【教育総務課】 6,800（千円）

※市内小学校 28校、市内中学校 15校、市内分校（小学校・中学校）1校

【9月補正3回目】【学務課】 7,900（千円）

※パルスオキシメーター ……市内小中学校1校当たり1台程度

※CO₂モニター ……市内小中学校1学級当たり1台（約550台）

14,700（千円）

●障がい者支援施設における感染拡大防止を徹底する

障がい者の入所施設やグループホームにおける感染リスク軽減に向けて、人が集まる場所や手などが触れる部分の抗菌コーティングに対する補助を行います。また、障がい者の相談支援事業所に対して、抗原検査キットを無料配布して、陽性者の早期発見と安心安全な相談支援を進めます。

【9月補正3回目】【障がい福祉課】

・コーティング経費×1/2（補助率）×39施設＝1,950（千円）

・検査キット費用 2千円×100個×3施設×14週＝8,400（千円）

10,350（千円）

●避難所における感染症対策に取り組む

避難所における衛生環境の向上を図り、感染症対策を進めるため、体調不良者用のトイレや感染リスクのある廃棄物の処理等に有効に活用できる自動ラップ式トイレを一部の市内避難施設に追加配備します。

【9月補正2回目】【災害対策課】

※自動ラップ式トイレ 10台

2,644 (千円)

●美術館における感染症対策に取り組む

感染症対策を講じながら美術展覧会を開催するとともに、自宅で文化芸術を気軽に楽しむことができるよう、「studio COOCA 展」および「遠藤彰子展」の動画を配信します。

【9月補正2回目】【美術館】

※ワークショップ開催・映像制作費……………6,270 (千円)

6,270 (千円)

●成人式における感染症対策に取り組む

密を避けるための2部制による分散開催、感染リスクを考慮し来場できない新成人に向けたオンライン配信による開催を進めるため、実行委員会への委託料を増額します。

【9月補正1回目】【青少年課】

◇主な経費

・分散開催、オンライン配信の式典運営費……………734 (千円)

・感染対策物品等の消耗品…………… 50 (千円)

878 (千円)

◇基本的な方向性◇

コロナ危機における市民の暮らしを支えるため、自宅療養者の支援、妊婦を優先としたワクチン接種、自立相談支援の充実、子育て世帯の経済的な負担軽減等に取り組みます。また、まちの経済を支えるため、県の中小企業等支援給付金の独自加算や、商店会・魚市場・公共交通事業者・旅行事業者など幅広い分野における支援に取り組むとともに、中小企業の事業継続・拡大や産学の共同研究を支援します。

◆補強の視点◆

自宅療養者の基本的な生活への支援や、中小企業の事業継続・拡大、水産・旅行事業者の支援に取り組むとともに、新型コロナウイルスの不活性化に係る研究を支援することで、活動の自粛と経済活動の維持の両立を図ります。

(1) 市民の暮らしを支える

●自宅療養者等を支援する

県と連携して、近所に支援する親族等がない自宅療養者の生活を支援するため、単身世帯および家族全員が陽性者または濃厚接触者である世帯等のうち、希望する世帯に対して、県の配食サービスが開始されるまでの間の食料品と、衛生用品の提供、療養期間中のごみの戸別収集を実施します。

【既存予算】 【健康課】 【危機管理課】 【福祉総務課】 【高齢福祉課】
 【地域包括ケア推進課】 【障がい福祉課】 【生活福祉課】
 【介護保険課】 【収集業務課】

— (千円)

●妊婦優先のワクチン接種に取り組む

妊婦の方々が安心して出産できるよう、新型コロナウイルスのワクチン接種について、集団接種会場での優先接種枠を設けるとともに、産婦人科等における接種を始めることで、ワクチンを優先的に接種できる環境を整えます。

【既存予算】 【健康課】

— (千円)

●自立相談支援を充実する

住居を失うおそれのある方を支援するため、支給期間の延長等がされた住居確保給付金について、引き続き支給します。

【9月補正1回目】 【福祉総務課】

25,748 (千円)

●**準要保護者へ給食費相当額を支給する**

小学校の休校期間中は給食が実施されず、各家庭で昼食費の負担が生じることから、小学校に在籍する就学援助費対象者（準要保護者）に、給食費相当額を支給します。

【既存予算】 【学務課】

—（千円）

●**ファミリー・サポート・センター事業利用者を支援する**

小学校の臨時休業等に伴いファミリー・サポート・センター事業を利用した場合に、利用時間に応じて助成します。

【9月補正2回目】 【保育課】

※1人当たり日額6,400円を上限

105（千円）

●**放課後児童クラブを支援する**

小学校の臨時休校期間中において、放課後児童クラブを平日午前中から開所するための経費等を支援します。

【9月補正2回目】 【青少年課】

※放課後児童クラブ 49カ所（51支援単位）

9,240（千円）

●**福祉施設等の活動を支援する**

感染症の影響により福祉事業所の活動が制限される中で、福祉事業所で製作した商品の製作過程や魅力などを、市役所本館に開設している障がい福祉ショップ「ありがとう」の店頭において、動画により紹介することで、商品に対する親近感や思いやりの心の醸成を促し、福祉事業所の活動を後押しします。

【9月補正3回目】 【障がい福祉課】

・デジタルサイネージに関する機器の購入費……………155（千円）

155（千円）

（2）まちの経済を支える

●**中小企業等の事業の継続を支援する**

2021年7月から9月にかけての緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置に伴う飲食店への休業・時短要請または外出自粛等の影響を受けて、売り上げが減少した市内の事業者等に対して、県の中小企業等支援給付金に独自に金額を加算して支給します。

【9月補正3回目】 【商業観光課】

※対象者…月次支援金かつ中小企業等支援給付金を受けた事業者

※中小法人等 50,000円/月×最大3カ月

※個人事業者等 25,000円/月×最大3カ月

45,000（千円）

●商店会の経営基盤の安定を図る

商店会が所有する街路灯の LED 化等に係る施設改修経費や、共同施設の維持管理経費に対し助成を行うことで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている商店会の経営基盤の安定を図るとともに、脱炭素社会に向けた取組を促進します。

【9月補正3回目】【商業観光課】

- ・商店街共同施設改修経費への補助の拡充…… 31,234（千円）
- ・商店街共同施設維持管理経費への補助の拡充…10,277（千円）

41,511（千円）

●水産物加工設備の導入支援に取り組む

コロナ危機で経営状況が厳しくなっている水産物地方卸売市場内業者の負担軽減を図り、経営改善につなげるため、水産物加工設備の導入に対して補助します。

【9月補正3回目】【農水産課】

- ・水産加工設備の導入補助……………26,346（千円）

26,346（千円）

●平塚新港における遊漁船業等を支援する

平塚新港駐車場にキャッシュレス対応精算機を導入することにより、新港駐車場を利用するつり客等の利便性を高め、利用者の増加による遊漁船業等の売り上げ向上につなげます。また、電子決済の普及を進め、新しい生活様式の定着を促すとともに、現金使用による来場者との接触機会を減らし、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図ります。

【9月補正3回目】【農水産課】

9,900（千円）

●公共交通における感染症対策を支援する

コロナ危機における路線バス・タクシー事業者の安心・安全な運行を図るため、感染症の予防対策に必要な経費への助成を増額します。

【9月補正3回目】【交通政策課】

※バス 40,000 円／台、タクシー20,000 円／台

6,662（千円）

●修学旅行のキャンセルに伴う旅行会社を支援する

コロナ危機における旅行事業者の負担を軽減するため、修学旅行のキャンセルに伴って発生する、宿泊先や施設等に旅行会社が支払うキャンセル料を支給します。

【予備費】【教育総務課】

3,159（千円）

●事業用電気自動車等の導入を支援する

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内中小事業者等に対し、事業継続・拡大の後押しと脱炭素社会の実現を目指し、事業用電気自動車等の導入に係る経費の一部を補助する制度を創設します。なお、交通事業者等に対しては、増額して補助します。

【9月補正3回目】【産業振興課】

◇主な経費

※電気自動車：一般事業者 75 万円／台、交通事業者等 100 万円／台

※電動2輪車・3輪車：上限 20 万円／台（補助率 3/4）

25,300（千円）

●産学の共同研究を支援する

新製品の開発、技術研究・試作等の技術開発による事業化を促進し、地域産業界の活性化を図るため、新型コロナウイルスの不活性化に係る研究に対して補助金を交付します。

【9月補正1回目】【産業振興課】

・対象事業経費×1/2（補助率）×1件=750（千円）

750（千円）

3 ポストコロナを見据え、その先のまちづくりを進めるために

120,191 千円

◇基本的な方向性◇

感染症が収束したポストコロナを見据え、地域経済のデジタル化・グリーン化を促進するため、スマート農業の導入や中小企業の脱炭素化を促進するとともに、地域社会のデジタル化に向けて、子育て・福祉施設における ICT の活用を支援します。また、デジタル技術を活用した行政サービスの展開として、マイナンバーカードの取得促進や教育環境における ICT の活用を促進するとともに、情報格差の対策などにも取り組みます。

◆補強の視点◆

事業用電気自動車等の導入、福祉施設や放課後児童クラブにおける ICT の活用を支援し、地域におけるデジタル化・グリーン化を促進するとともに、スターライトマネーを活用したマイナンバーカードの取得促進と取得増加に伴う体制整備に取り組むことで、行政のデジタル化を加速させます。

(1) 地域経済のデジタル化・グリーン化を促進する

●デジタル技術を活用したスマート農業の導入を促進する

感染症の影響下における食糧需給や流通の課題を踏まえ、市内における農産物の生産増大や安定供給を図るため、デジタル技術などの先進技術を活用した「スマート農業」導入を支援することで、農業経営の効率化・拡大を促進し、ポストコロナにおける本市農業のモデルを創出します。

【9月補正1回目】【農水産課】

・対象事業経費×2/3（補助率）×8件=20,622（千円）

20,622（千円）

●事業用電気自動車等の導入を支援する【再掲】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内中小事業者等に対し、事業継続・拡大の後押しと脱炭素社会の実現を目指し、事業用電気自動車等の導入に係る経費の一部を補助する制度を創設します。なお、交通事業者等に対しては、増額して補助します。

【9月補正3回目】【産業振興課】

◇主な経費

※電気自動車：一般事業者 75 万円／台、交通事業者等 100 万円／台

※電動2輪車・3輪車：上限 20 万円／台（補助率 3/4）

25,300（千円）

(2) 地域社会のデジタル化を促進する

●放課後児童クラブにおけるICTの活用を支援する

放課後児童クラブにおける職員の業務負担の軽減を図るため、オンライン会議用PC等や入退出管理システム導入に要する経費に対して補助します。

【9月補正1回目】【青少年課】

- ・オンライン会議用PC等機器類の導入…………… 7,310 (千円)
- ・入退出管理システム用タブレット等機器類の導入…3,903 (千円)

11,213 (千円)

●福祉施設におけるICTの活用を支援する

利用者への介護ケアの迅速化・効率化や職員の負担軽減を図るため、通信環境を整備するとともに、利用者に関する介護記録・報酬請求等の業務において、ICTを活用した機器類導入に要する経費に対して補助します。

【9月補正1回目】【介護保険課】

- ・タブレット端末などICT機器類の導入…13,440 (千円)

13,440 (千円)

●生活困窮世帯等の学習支援に取り組む

生活困窮世帯等の中学生を対象とした学習支援事業の会場において、感染リスクを軽減させるため空気清浄機を配置するとともに、緊急事態宣言に伴う外出自粛などに対応するため、リモートを含めた在宅学習時の指導者用ノートパソコンを設置します。

【9月補正3回目】【生活福祉課】

※空気清浄機3台、ノートパソコン3台

426 (千円)

(3) デジタルなど新しい技術を活用した行政サービスを展開する

●マイナンバーカードの取得を促進する

マイナンバーカードの普及促進を図るため、新たにマイナンバーカードを取得した市民を対象にスターライトマネーを付与するとともに、申込期限が延長されたマイナポイントの取得について引き続き支援します。また、市役所本館においてカード交付申請の支援を行います。さらに、電子証明書更新受付用機器およびデジタル文書保存用機器を導入します。

【9月補正1回目】【マイナンバー推進課】

◇主な経費

- ・スターライトマネー付与対象 20,000人(上限) × 2千円 = 40,000 (千円)
- ・マイナポイント取得に向けた支援員の配置 5,954 (千円)

47,349 (千円)

●窓口における感染防止と利便性の向上を図る

マイナンバーカード取得者の増加に対応するため、市民課証明交付窓口への統合端末の増設に加え、キャッシュレス決済端末、レジ端末および釣り銭機も当該窓口へ導入することで、新型コロナウイルス感染症等の感染リスクの減少につなげるとともに、窓口待ち時間の短縮および市民サービスの向上を図ります。

【9月補正1回目】【市民課】

◇主な経費

- ・統合端末増設分（2台）賃借料および保守委託…………… 113（千円）
 - ・レジ端末・釣り銭機等賃借料……………110（千円）
 - ・キャッシュレス決済に係る端末初期設定・保守委託・手数料……………114（千円）
- 367（千円）

●小・中学校におけるG I G Aスクール構想を推進する

子どもたち一人一人に個別最適化された学びを推進するため、国のG I G Aスクールサポーター配置促進事業を活用して、I C T活用研修を開催するなど、授業づくり支援に取り組むことで、タブレットを活用した授業の効果を高めます。

【9月補正1回目】【教育研究所】

◇主な経費

- ・I C T活用研修 87千円×44校×2回=7,656（千円）
- 10,150（千円）

●情報格差の対策に取り組む

スマートフォンを持っていない高齢者がデジタル社会に取り残されないようにするため、スマートフォンに触れ、基本的な操作方法を知るとともに、デジタル技術の便利さを体験できるセミナーを開催します。また、参加者に対して、スターライトマネーを付与することで、スマートフォンの使用とキャッシュレス決済を始めることを促します。

【9月補正1回目】【デジタル推進課】

- ・セミナー開催費…12,284（千円）
地区公民館 25館×各1回、講師派遣（5名/回）、研修者用スマートフォン 25台/回
 - ・スターライトマネー付与対象
250人×1,000Pt（スターライトマネー）=250（千円）
- 12,534（千円）

●新しい技術を活用して災害対応力を強化する

消防本部に無人航空機災害用ドローンを配備し、建物火災等の状況確認や水災・土砂災害等大規模災害時の被害状況を早期に確認することで、より安全かつ効果的な部隊運用の実現を目指します。これに加えて、収集した情報を庁内関係部局と共有し連携することで、本市におけるさらなる災害対応力の強化を図ります。

【9月補正1回目】【消防救急課】

◇主な経費

- ・災害用ドローン1機…3,005（千円）、訓練用ドローン2機…128（千円）
 - ・ドローンパイロット養成3人…660（千円）
- 4,090（千円）

【内訳】

9月補正予算（1回目）	…363,891（千円）
9月補正予算（2回目）	… 56,059（千円）
9月補正予算（3回目）	…362,110（千円）
令和3年度予備費	……………3,159（千円）

■合計■ 785,219（千円）